

各 位

積水ハウス株式会社
 代表取締役社長：阿部 俊則
 本社：大阪市北区大淀中1-1-88

スマートハウスのマネジメント機能を拡大 スマートヘルスケアサポートの実証実験を開始

積水ハウス株式会社は、オーナー様の健康管理や見守り機能を備えたウェアラブルセンサーと対話型HEMSを連動させたスマートヘルスケアサポートの開発に着手し、2014年度内の運用に向け、実証実験を開始します。

当社は、つねにある快適を先進の技術で実現する『SLOW & SMART』をブランドビジョンとして掲げ、事業を展開しています。さまざまな分野のスマート技術を住宅が集約し、相互に連携させ、適切な情報とサービスを提供するプラットフォームの役割を担うべきと考え、その基盤づくりのため、本年10月より、IBMプラットフォームと連携した対話型HEMSの運用を開始しました。オーナー様のデータを一元管理することで、建物やお庭、気象や防犯情報など、快適な生活をサポートするパーソナライズ化した情報を提供しています。

そしてこのたび、より快適で安全・安心な暮らしのサポートを目的に、スマートハウスのマネジメント機能をオーナー様の健康管理や見守りにまで拡大させたスマートヘルスケアサポートの運用に向け、実証実験を開始します。Vital Connect社（バイタルコネクト社、本社：アメリカ）の最新センシング技術によるウェアラブルセンサーを活用し、オーナー様の健康情報および活動状況をリアルタイムで測定。対話型HEMSと連動させることで、健康上のアドバイスを رفتたり、食事の管理や空調調節、体調異常の発見など、オーナー様の健康をサポートするサービスを提供していきます。

本サービスは、粘着型の使い捨てパッチ（約11cm）にセンサーを装着させ、体に貼りつけるだけで、生体データがリアルタイムに収集され、心拍数や呼吸数、表皮温度、消費カロリー、ストレスの測定等ができます。今後はHEMS上に記録します。さらに睡眠時の状態把握、転倒などによる怪我や意識不明状態の通知機能などから、適切なアドバイスや救助につなげることを目指します。将来的には、住環境から健康や食生活のサポート、医療介護の分野にまで機能を拡大する予定です。

当社は今後も、スマートハウスのリーディングカンパニーとして、暮らしの中にITやパーソナルモビリティといったロボティクス技術を取り入れ、生活者の視点に立った情報・サービスを提供し、快適な暮らしをサポートしていきます。

<ウェアラブルセンサー（開発中）>



※本センサーは医療機器ではなく、販売・授与はできません。



<HEMS表示イメージ（開発中）>

<主な機能（開発中）>

- ・心拍数・心拍変動・呼吸数
- ・表皮温度・体位・歩数
- ・転倒検知・ストレス
- ・消費カロリー・歩調分析
- ・活動状況
- ・睡眠時間、入眠・起床
- ・睡眠覚醒判定、睡眠体位
- ・睡眠段階

本件に関するお問い合わせ先
 積水ハウス株式会社 広報部

(大阪) TEL : 06-6440-3021 (東京) TEL : 03-5575-1740

